

日本骨髄バンクの現状（平成 19 年 3 月末現在）

	2 月	3 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,555	2,798	276,847	349,159
患者登録者数	176	192	2,244	22,435
骨髄移植例数	93	89	-	8,210

20 歳未満のドナー登録者数  
 3 月 134 人  
 合計 4,992 人（17 年 3 月～）  
 51 歳以上のドナー登録者数  
 3 月新規 105 人  
 延長 218 人  
 合計 6,894 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 19 年度の事業計画・予算を通常理事会で原案どおり可決承認

3 月 28 日に第 32 回通常理事会、評議員会が開催され、19 年度の事業計画・一般会計並びに特別会計収支予算などが原案どおり可決承認されました。

今年度の重点項目としては、1）財政運営 2）組織の活性化 3）関係機関とのコミュニケーションの強化 4）業務システムの開発、保守管理等 5）普及啓発事業 6）連絡調整等事業などが挙げられました。

新規事業としては、人事・給与制度の見直し及び新制度の早期定着、業務課題・目標の設定と面談制度の導入、コーディネート支援システムとの連携性を高めた会計システムの導入、ドナー登録説明員向けのマニュアル及び登録会担当者業務マニュアルの作成などが審議され、承認されました。

また、4 月 13 日に臨時理事会が開催され、互選により正岡徹理事長、斎藤英彦副理事長、伊藤雅治副理事長が引き続き選出され、さらに、平井全（ひらいあきら）理事が常務理事に選出されました。常任理事は品川保弘氏に代わり、新たに陽田秀夫氏が選出されました。

2 平成 18 年度実績報告（移植 963 例、ドナー登録者数 35,159 名）

平成 18 年度の骨髄バンクを介しての骨髄移植例数は、過去最高の 963 例に達し、平成 17 年度の 908 例を大きく上回る 55 例の増加となりました。新規ドナー登録につきましては、昨年度（45,585 名）に次ぐ 35,159 名でした。日本赤十字社、行政関係者、医療関係者、骨髄提供いただいたドナーの方々、登録いただいたドナーの方々、ボランティアの方々、ご支援いただきました全ての皆様に改めて深く感謝申し上げます。

3 登録呼びかけチラシ 34 万枚を全国の 18 歳の手元に

ドナーの若年者層開拓を目的に、高等学校の卒業生、大学・短期大学・専門学校の入学生を対象に実施した骨髄バンク登録呼びかけチラシの配布は、大学 260 校（学部）、短期大学・専門学校 350 校、高等学校 705 校からご協力をいただき、配布総数は 34 万 3464 枚に達しました。多くのチラシを全国の 18 歳の手元に届けることにあたって、ご協力いただいた学校関係者及びボランティアの皆様から感謝を申し上げます。

4 多彩な骨髄バンク支援イベント開催

東武動物公園にて「開園記念チャリティー」と「寄付金贈呈式」

3月28日と29日、東武動物公園（埼玉県南埼玉郡）において「東武動物公園開園記念チャリティー」が開催され、骨髄バンクへの支援が行われました。好天に恵まれて約3万4000名の入園者が訪れ、保護者に抱かれながら寄付する幼児や友達同士で寄付する小中学生が多く見られました。4月6日には東武動物公園において寄付金贈呈式が行われ、骨髄バンクから東武動物公園へ感謝状を贈呈しました。

昨年に引き続き巨人軍による骨髄バンク支援スタート

今シーズン初の東京ドームでの巨人戦となった4月3日、骨髄バンクのPRがスタートしました。新たに制作したオレンジ色のかわいい「ジャビットシール」は大好評で、骨髄バンクのリーフレットとセットにして5日までの3日間に約10,000セット配布しました。読売巨人軍からは昨年に引き続き今年もご支援をいただける予定で、様々なPRを実施します。

Vリーグファイナルラウンド会場で骨髄バンクPR

1月から骨髄バンクの支援をしていただいているバレーボールVリーグ。V・プレミアムリーグの優勝チームを決めるファイナルラウンドが4月14日、15日、さいたまスーパーアリーナで行われました。会場では骨髄バンクのリーフレット配布の他、堺ブレイザーズ監督の中垣内祐一さん、大林素子さんと元患者さんによるトークイベント、選手による募金活動やチャリティーオークション、また骨髄バンク支援ソング、Vリーグテーマソングを歌うスーパーバンドにはライブの他、募金活動にご協力いただきました。



5 国際協力の現状など

1) 国際協力の現状

		2007.1～3			～2007.3末	
海外ドナーから国内患者へ		登録患者数	全抗原適合*	コーディネイト数	移植数	累計移植数
NMDP(米国)	日本	7	5	5	2	110
BTCSCC(台湾)		7	4	4	0	25
KMDP(韓国)		7	2	4	1	12
計						147
国内ドナーから海外患者へ		登録患者数	全抗原適合*	コーディネイト数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)	15	27	17	0	10
	BTCSCC(台湾)	2	1	0	0	0
	KMDP(韓国)	58	57	32	1	125
	その他の国**	—	—	—	0	20
計						155

\* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

\*\* その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ3件、ベルギー2件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。

2) 骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 346人

3) DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 216件

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定	
常任理事会	公開	4月25日(水)17:00～	廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開	5月17日(木)17:00～	廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望検討会議	公開	5月19日(土)16:00～	廣瀬第1ビル2階会議室